



H29. 11. 10 (金)

「 園庭に廊下にわくわく♪ 」

保育室でははいはいや歩いて探索活動を楽しんでいる子どもたち。安心して過ごす中で、活動範囲も広がり、行動も大胆にダイナミックになってきています。廊下へ出ると車の乗りものに乗る、自分で足で床を蹴って進むことができるようになったり、保育士と追いかっこを楽しんだりしています。

天気がよく、あたたかい日には園庭で遊んでいます。くつをはいて遊ぶこどもたちが増えてきました。すべり台に登ろうとしたり、馬の遊具に乗って体をゆらゆら揺らしたり、葉っぱや砂を触ってみたりと子どもたちの興味は広がってきています。

遊戯室にあるトランポリンや体育用具を使っでの遊びにも挑戦してみようと計画しています。まだまだバランスを崩して転倒するなど危ないこともありますが、子どもたちの”何だこれ？””ちょっと触ってみよう、やってみよう”という気持ちを大事にして見守っていきたいと思います。

「 新しいお友だちが3人増えました♪よろしくね。」

M・Mちゃん



I・Kちゃん

T・Iくん

「 内科検診があります 」

11月27日(月)内科検診があります。この日はできるだけお休みのないようご協力をお願いいたします。

「 あっぶつぶ 」

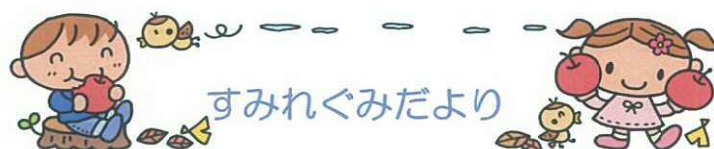
絵本が大好きな子どもたち。6月のクラスだよりでご紹介させていただいたときは、絵本読みの途中でどこかへ行ってしまいう子どももいましたが、夏が過ぎた頃から保育士が絵本を持ってくると「はっ！！」という表情をしてマットに座って待っています。

最近好きな絵本は「あっぶつぶ」という絵本です。

「あっぶつぶ」とページをめくる前の期待感あふれた表情。そしてめくった後に面白い顔をしている絵を見て「へへへ〜。」と笑顔になる子どもたち。次はどんな絵本にしようかなと私たちも絵本を選ぶことが楽しみになっています。







H.29年11月10日発行

11月7日は立冬でした。天気の良い日には、園庭に出て、落ち葉に触れたり、バッタを追いかけたりと元気いっぱいのすみれぐみの子どもたちです。これから冬に向かって風邪等に罹患する子どもも増えてくると思います。室内の換気や温度に気をつけ、うがい手洗いをしながら予防するようにします。



### 自分で出来るよ

衣服の着脱や食事等、身の回りのことを自分でしようする姿があります。オムツの交換後には、自分でズボンや布パンツを履こうと挑戦しています。2歳の誕生日を迎えた子どもたちは、お昼ね前にパジャマに着替えています。

時間を掛けながら、自分でやろうとしている時には見守り、出来ない部分はさりげなく手伝いながら関わっています。自分でできた時にはしっかりと褒め、自信に繋がるようにしていきたいと思います。



### 野菜スタンプ



手遊びや絵本の中に出てくる様々な野菜に興味が出てきた子どもたち。先日、野菜スタンプをして遊びました。ピーマンやオクラに絵の具をつけて、スタンプして見せると、「オクラ・・・キラキラ（星）みたい」と言って目を輝かせていました。子どもたちの感性の育ちを感じ、嬉しくなり心が温かくなりました。

11月7日に、ふたば保育園のマラソン大会がありました。いつも、園庭で手を繋いで遊んでくれ、靴が脱げると「靴、脱げたよ」と履かせてくれる、優しいお兄さん、お姉さんがいつもと違う逞しい表情で、かっこよく走る姿を見て、すみれぐみの子どもたちは「がんばってー」と大きな声で応援していました。



11月27日（月）に内科検診があります。この日は、できるだけお休みのないようご協力をお願いいたします。



すみれぐみ担任：中村、有蘭、萩尾、船石



平成 29 年 11 月 10 日 (金)

朝夕の温度差は、秋の深まりを感じさせられます。元気いっぱいの子ども達は、先日茶屋町公園まで散歩に行きました。友だちと手をつなぎ、バスを見たり、川の流れや様子を見ながら公園に向かいました。公園に着くと、遊具に向かって走っていき、ジャングルジムの中では、鬼ごっこをして遊んでいました。

～マラソンがんばれ～

11月7日に以上児のマラソン大会がありました。ちゅうりっぷ組は、園庭に出て、応援をしました。たんぼ組からこすもす組が出発まで、大きな声で、「がんばれ」や「いっぱい走ってね」と声を出し、一生懸命に応援していました。

以上児のみんなが出ていくと、「どこまでいったん」「かえってくるかね」など以上児が戻ってくるのを楽しみに待っていました。



～上手にふけるかな

七五三のお菓子を入れる袋をつくりそれに、ふき絵をしました。ストローで、ふくのですが、なかなかうまく、ストローで拭くことが出来ずに一人ひとりが、真剣な表情になりながら何度も挑戦し、うまく、絵が広がると、「できたね」「おもしろいね」などそれぞれが選んだ色の吹き絵の、出来上がりを喜んで楽しそうでした。

お願い

11月に入り、スモックで過ごすようになりました。

スモックがまだ揃っていないのでできるだけ早くスモックを着れるようにお願いします。

お知らせ

11月27日(月)に内科検診があります。この日はできるだけお休みのないようお願いいたします。

ちゅうりっぷ組 桑原 唐木

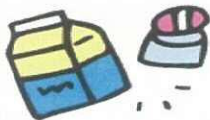






園庭の木々も葉を落とし、11月7日は立冬でした。だんだんと秋が深まり朝晩は肌寒い日も多くなってきました。

皿倉登山やマラソン大会を終え、心も体も強くなった子どもたちは、寒さに負けず、「早く外で遊ぼう！」と元気いっぱいにあそんでいます。行事を通して大きく成長した子どもたちですが、まだ自分の思いを言葉にして上手く伝えられずトラブルになってしまうこともあります。今月は自分の気持ちを自分なりの言葉で表現し、また相手の気持ちにも気付くことができるような思いやりの心の成長を、目標に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。



### 秋の自然は宝箱



いつも散歩に行っている公園が、イチョウや楓など赤や黄などに色づきました。

秋はさらに深まりを見せ、きれいな色の落ち葉やどんぐりは、宝物のように子どもたちは袋に入れて持ち帰ります。持ち帰った自然物で子どもたちは、どんぐりをたくさん並べてオブジェにしたり、落ち葉を画用紙に貼り付けて、いろいろな形や物に見立てて創造しながら夢をふくらませています。



**11月23日は「勤労感謝の日」です。今年も11/15に消防士の方が園に来られて、子どもたちの避難訓練を指導して下さいます。消防車や救急車を実際に見せていただける予定です。地域で働く大人と触れ合うことで、子どもたちにも何かを感じてもらえるといいなと思います。**

#### 温かな言葉を励みに！

保護者の方より、家庭での子どもの様子や行事の感想など、仕事や家事に忙しい中で連絡帳を書いていただいて感謝いたします。私たちも毎朝楽しみに連絡帳を読ませていただき、家庭での子どもの様子が目に浮かんできます。連絡帳は、保護者の皆様との信頼の絆になる一つとして、大切さを感じ、私たちは出来る限り連絡帳でその日の子どもさんの状況をお知らせしようとの思いです。保護者の方と日々の思いの育ちの喜びを、ご家庭の皆様と共有することができるようにと願うのです。







## ひまわりだより



H29. 11. 10 (金)

### たくさんの応援ありがとうございました。

金毘羅登山から始まった体育まつり、楽しみにしていた皿倉登山は雨天のため延期が続きましたが、10月30日に登ることが出来ました。ひまわり組はこすもす組さんと一緒に手を繋ぎ「もうすぐ着くよ。」「あと少しでお弁当だよ。」とこすもす組を励ましながら登りました。

11月7日のマラソン大会では2グループに分かれ走りました。初めは元気いっぱいだった子どもたちも走るペースがゆっくりになり“大丈夫かな”と私は心配していましたが、保護者や地域の方々からの声援でパワーをもらい最後まで走りきることができました。登山やマラソン大会を経験してさらにたくましく成長した子どもたちです。秋の行事を終えさらに成長へとつなげていくことができるように支えていきたいと思います。

### どっちが早くできるかな？

けん玉で大皿や中皿、とめ剣などいろいろな技をできるようになりました。

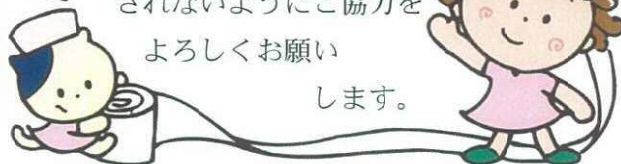
「もうちょっと膝を曲げた方がいいよ」「けん玉はこうやって持つんよ」など子ども同士で教え合い練習しています。技が出来ると「見ててね」と得意げな表情で保育士や友だちに披露していますよ。保育士も子どもたちに負けず、練習をし競い合っています。



### お知らせ

11月27日(月) 12時から  
委託医の松井医院さんが来園され  
内科検診をしていただきます。

当日はなるべくお休み  
されないようにご協力を  
よろしくお願いします。



4歳児担任：草場、今丸



発行：平成29年11月10日（金）

### 「みんなで頑張ろう！」

皿倉登山やマラソンを経験し、さらにたくましく成長した子ども達のマラソン大会でのことです。スタートの合図で勢いよくスタートした、たんぽぽ組。5キロと決して短くないコースを子どもたちは、大きな声で“わっしょい”と掛け声をかけながら一生懸命走っていました。何人かが集団から遅れてしまうと、その様子を見た他の子どもたちからは「頑張れー！」と励ます声上がり、きつそうな表情で下を向き歩いていた子どももその声に顔を上げ、気を取り直し、走り始めました。その姿を見てさらに子どもたちは声を大きくし応援しました。走っている途中、子どもたちが何度か転んでしまう場面もありました。痛そうに表情を歪める子どもの姿に“大丈夫だろうか”と思いましたが、そんな保育士の心配をよそに子どもたちは、転んでしまった友だちにサッと手を差し伸べ、「痛いね、大丈夫？」「保育園まで一緒に頑張ろう！」と手を取り合い、転んでしまった子どもも痛みや涙をにじませながらも、立ち上がるとすぐに力強い表情で走り出していました。その後も子どもたちは顔を真っ赤にし、時折疲れた表情をしていましたが、保護者の方や、地域の方からの力強い声援で、パワーが加わり、友だち同士「もう少しよ！」「みんなで頑張ろう！」と何度も励ましあいながら元気に走り、無事全員でゴールすることができ、「やったー！みんなゴールできた！」と皆で走りきった達成感を喜び合いました。

子どもたちで励ましあい、最後まで諦めずやり遂げようとする強い心や、友だちを思いやる優しい心の成長も感じることができ、みんなでゴールを目指す姿に胸が熱くなりました。子どもたちの人間的な成長と温かい思いやりの心を大切に、これからの将来の基礎としてさらに成長へと繋げていくことができるように支えていきたいと思えます。



### お知らせ

11月13日（月）に天疫神社へ七五三参拝に行きます。

「これからもふたば保育園のみんなが元気に過ごせるように、神様にお願いしたいとね」と話していました。自分のことだけでなく、他の人のことも考えることのできる優しさを大切に、これからも健やかに成長してほしいと願っています。

